

# 絆

小樽市立病院広報誌

TAKE FREE(無料)  
ご自由にお持ちください

特集 地域医療の懸け橋に～地域医療連携室～

PIC UP News & Topics

- ・ New Doctor
- ・ 地域の連携医療機関のご紹介
- ・ 病院まつり ほか



2017

秋号

表紙：本物の外科医と研修医に教わる「外科医のつもりで手術体験～病院まつり」 vol.24

基本理念：小樽市立病院は、市民に信頼され質の高い総合的医療を行う地域基幹病院を目指します。

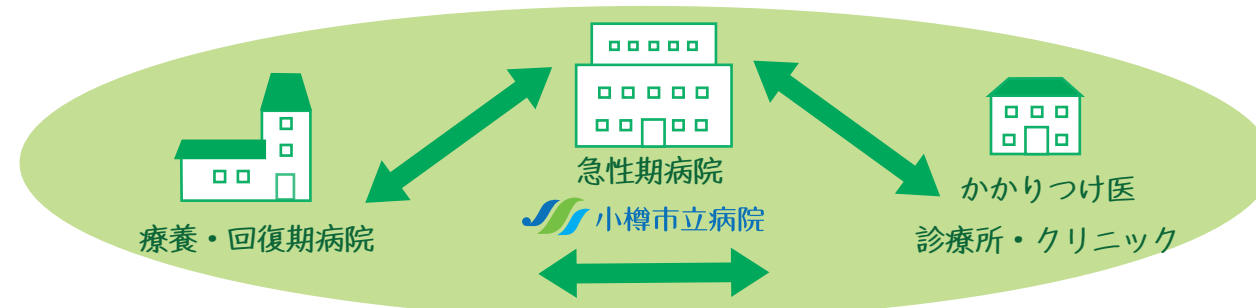
1 2017年11月発行

患者さん・地域の皆さんへ

## かかりつけ医を持ちましょう

当院は「地域完結型医療」を目指しています

現在、国では各医療機関がそれぞれの得意分野を生かした機能分担を行い、互いに連携し、患者さんに切れ目のない医療サービスを提供する体制づくりを目指しています。これを「地域完結型医療」といい、具体的には当院のような地域の中核病院が急性期や専門的医療の役割を担い、日頃の健康管理や病状が安定した患者さんは回復期病院、療養型病院、クリニックなどが診療に当たるといったものです。



当院でも「かかりつけ医」をお持ちいただくよう勧めており、退院後の経過観察をお近くのクリニックにお願いするなど医療機関と連携し、患者さんからのご相談にも応じています。また、当院を受診する際には、かかりつけの医療機関から「紹介状」をお持ちいただくことを推進していますので、ご協力をお願いいたします。

医療機関の方へ

## ご紹介の手順について

※初診の患者さんに限ります。 ※当日の予約はできません。

受診予約の流れ



FAX

診療情報提供書（予約申込書）に必要事項を記入の上、FAX 送信してください。



受診日時が決まり次第、「初診予約票」をお送りしますので、患者さんにお渡しください。



1 階新患受付カウンターへお越しください。

※緊急の入院は、医師間でご連絡をお願いいたします。

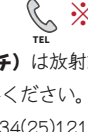
※診療科により受診予約方法が異なる場合があります。

検査予約の流れ



TEL または FAX

診療情報提供書（検査申込書）に必要事項を記入の上、電話または FAX 送信してください。  
※造影検査・MRI は問診票が必要です。



受診日時が決まり次第、「検査予約票」をお送りしますので、患者さんにお渡しください。



1 階新患受付カウンターへお越しください。



1 階新患受付カウンターへお越しください。

地域医療連携室



代表 0134(25)1211(内線 1602、1603、1604)

シンチ (内線 1030)



代表 0134(25)1600





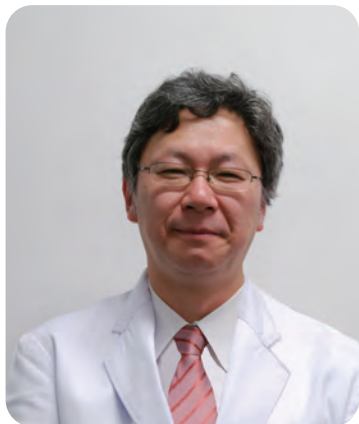
# 地域医療の懸け橋に～地域医療連携室～

## ごあいさつ

小樽市立病院 地域医療連携室長 有村 佳昭

(消化器内科 主任医療部長)

小樽市立病院は、二つの旧市立病院を統合・新築するという念願がかない平成 26 年 12 月 1 日開院しました。新病院は、小樽教育発祥の地に建てられた風光明媚で立派な建物であり、小樽・後志地区の中核病院として、高度の急性期医療、救急医療ひいては予防医療の充実を目指しております。立派な建物の次は内部の充実が課題であり、今回はその中でも地域医療連携室の取り組みをご紹介します。



### 【地域医療構想について】

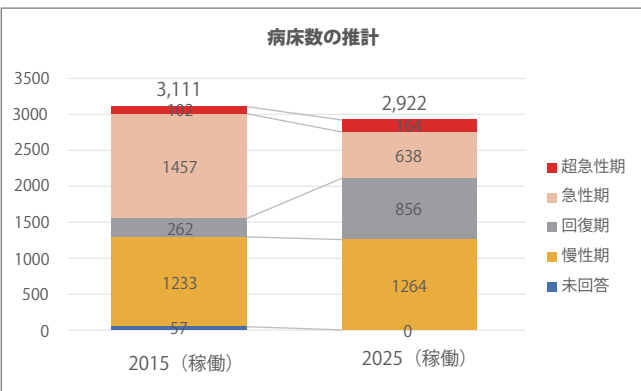
平成 37 (2025) 年にいわゆる「団塊の世代」が全て 75 歳以上となる中、医療の在り方は主に、青年壮年期の患者を対象とした「病院完結型」の医療から高齢者の特性を踏まえ、住み慣れた地域や自宅での生活を支える「地域完結型」の医療に重点を移していく必要があります。地域医療構想は平成 37 年に向け、病床の機能分化・連携を進めるために、医療機能ごとに平成 37 年の医療需要と病床の必要量を推計し、定めたものです。それを受け北海道が「北海道地域医療構想」をすでに策定しております。それによりますと北海道の 21 の第二次医療圏ごとに、どのような区分の医療（高度急性期、急性期、回復期、慢性期等）が、どの程度必要かという「医療の需要」を推計されており後志地区では下図のように推定されています。

これによりますと後志地区全体で 200 床程度の減少に留まりますが、急性期病床はおよそ半分に減り、回復期病床が 3 倍程度増加することが予想されております。当院はこの中では主に急性期病床を担当すべく病診、病病連携を中心に据えて準備を進めているところです。

### 【小樽市立病院の地域医療連携について】

当院は「地域医療支援病院」を目指しております。そこで市内 88 カ所のクリニックや後志の医療機関を地域連携室職員が訪問し、市立病院に

対するアンケート調査を実施し、現在結果の解析を行っています。実際の訪問では、忌憚のないどころか辛辣なご意見を頂戴することもありましたが、訪問後は明らかに紹介患者が増加する手応えを感じており、今後も各診療科の医師を同伴しお邪魔をした際には、どうか優しく接していただけると幸いです。



当院は、北海道がんセンターとのグループ指定により、平成 29 年 4 月 1 日付けで「地域がん診療病院」の指定を受けました。がん診療病院とかかりつけ医が一緒に作った「共同診療計画書」である「**がん地域連携クリティカルパス**」を用いて、がん診療病院と地域の病院や診療所が同じ診療方針で、安全で質の高い医療を提供することがその目的です。これは取りも直さず、がん診療における機能分化・役割分担を促すという点で地域医療構想の申し子といえる取り組みです。

当院では「かかりつけ医」を支援することで、将来的には外来医療においても役割分担を考えており、地域住民の啓蒙、かかりつけ医との連携強化によって、質の高い専門外来の確保を目指しております。

とりわけ当院とかかりつけ医が ICT の活用により患者さんの診療情報を共有し、連携して診療を行う **小樽後志地域医療連携システム (ID-LINK)** や他の**画像共有システム** など今後の連携強化に大いに寄与するものと考えております。

2025 年問題、医師偏在をはじめ、地域医療はかつてない危機に直面しています。ピンチの中にチャンスありと言います。後志地区が医療を中心に地域が再生、活性化されることを夢みて私の挨拶と代えさせていただきます。

## 「がん地域連携クリティカルパス」とは

当院（「地域がん診療病院」）とかかりつけ医（「連携医療機関」）が一緒に作った「共同診療計画書」のことです。

患者さんは受診する際に、「共同診療計画書」が記載された「私のカルテ」（患者さん用の携帯ノート）を持参することにより、当院の医師とかかりつけ医が患者さんの治療経過を共有でき、より適切な診療が可能になります。



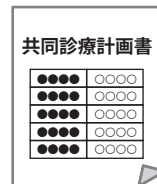
がん診療（拠点）病院の役割

- ・専門的な診療や検査（CTや内視鏡）
- ・病状が悪化したときなどの対応

国のがん対策の  
基本理念

目的は、がん医療の  
質の保障と安全の確保

役割分担と連携



かかりつけ医（連携医療機関）の役割

- ・日常の健康管理
- ・定期的な診療、血液検査および薬の処方
- ・痛みや吐き気などの各種症状の診療や治療
- ・地域がん診療病院への受診の必要性を判断





## ICT でかかりつけ医、医療機関と連携

現在、医療分野においてICT活用は不可欠なものとなっています。

ICT とは Information and Communications Technology の頭文字を使用した略語で、情報通信の技術全般を指し、一般的にはインターネット回線を利用した通信技術などがよく知られています。医療機関の連携においても、迅速かつスムーズな情報共有が必須で、当院でもかかりつけ医や連携医療機関とそのような技術を利用したICT連携を推進しています。

かかりつけ医と小樽市立病院をつなぐ  
**小樽後志**

**地域医療連携システム**

**「ID-Link」**



インターネット回線を利用した情報共有

かかりつけ医と小樽市立病院が保有している患者さんの診療情報の共有を行える地域医療連携のシステムです。医療機関が、互いの専門性や特長を生かして地域住民の健康管理を行うことができるため重要性を増し、注目されています。

「ID-Link」を利用するには、患者さんの同意とかかりつけ医の登録が必要となります。平成 29 年 10 月末現在、14 医療機関と連携しており、登録患者数は 3408 名です。

※登録、詳細情報をご希望の医療機関の方は、地域医療連携室まで、お問い合わせください。  
TEL 0134(25)1211 内線 1600 または当院ホームページでもご覧いただけます。

ID-Link は主に市内の連携医療機関との間で行われている情報共有システムです。

このシステムとは別に、後志管内の医療機関と画像共有システムを利用し、依頼先の医療機関からのMRIやCT画像を当院の担当科（主に脳神経外科）の医師が診断するシステムもあります。このシステムによって即時搬送の必要性や治療の緊急性を判断し、緊急と診断された際には救急車やドクターヘリによって患者さんの受け入れを行っています。

このシステムの活用により、一部の診療科では緊急性の低い救急搬送が 4 割程度減少し、より緊急性の高い患者を多く受け入れているとの報告もありました。

救急車の出動経費は税金で賄われているため、多額の経費節減となります。

現在、一部の医療機関と診療科のみで利用しているシステムですが、今後の活用や拡大を目指します。

活動内容は？

- ・受診手続きのお手伝い
- ・車椅子の介助
- ・院内案内
- ・花壇の手入れ
- ・図書の貸し出し
- ・特技を生かした活動
- ・病院周辺の清掃 など

経験がないとダメ？

事前にオリエンテーションを行いますので、初めての方でも大丈夫です。

**活動日、活動時間をご相談の上で。**

興味のある方は、お問い合わせください。  
地域医療連携室 TEL 0134-25-1211 内線 1602

募集対象は？

16 歳以上で心身ともに健康で、定期的に活動できる方。



**病院ボランティア募集**

「あなたの元氣と優しさ、お待ちしております」

病院ボランティアは黄色いエプロンを着用しています。



## 地域医療連携室の紹介

地域医療連携室は、地域のかかりつけ医や医療機関、施設と連携し地域の皆さんが安心して医療を受けられるよう前方（当院への受け入れ）、後方（他院などへの転院）で支援を行う窓口です。このほか、医療機関や市民・患者さんへの広報活動などを行っています。



紹介患者さんをスムーズにお受け入れするための調整や、他院の先生方と当院をつなぐ連携の窓口としての業務を行っています。

今年度より 4 名体制となりました。当院の全診療科の患者さんに対し、適切な支援を行えるよう、日々、勇往まい進しています。

### 前方連携：看護師、委託事務職員

地域のクリニック、医療機関や施設からの診療、検査、入院などのご予約依頼を院内各科、部門と連携調整し、患者さんの受け入れを行う窓口です。



### 後方連携：医療相談員

当院での入院治療を終える患者さんご家族への相談支援を担当医の指示の下に行い、退院後の生活が安心して送れるよう医療機関、介護・福祉施設への転院調整を行います。

### がん相談支援センター ：がん相談支援員

「がんに関する不安や悩み」の相談窓口で、他院で治療中の方でも一般の方でもご利用いただけます。患者サロン「ポプラの会」の運営サポートも行っています。

他医療機関との「見える化」に取り組み、市立病院の役割・重要性をアピールしていきます。

市民目線の病院情報を発信していきます！

連携室一同、どうぞよろしく願いいたします。



### 地域医療連携専門員・広報専門員、事務職

医療機関との連携推進、市民公開講座・健康教室の開催、医療機関、市民・患者さんへの広報活動、連携業務全般の事務などを行っています。



New Doctor

## 平成 29 年 10 月 着任医師



麻酔科 医師  
まつもと ともみ  
松本 友美

手術を受けられる患者さんに、安全でより良い麻酔を提供できるように精一杯がんばります。

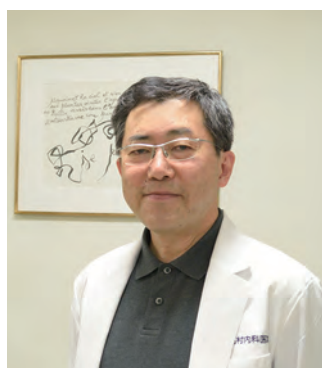
## PIC UP News・Topics

### 地域の連携医療機関のご紹介

#### 高村内科医院

Q 病院の特徴を教えてください

地域のかかりつけ医として日々の診療を行っています。高齢の患者さんが多く、より長く元気でお過ごしいただきたいと思います。当院の待合では療養のコツ（より健康な食事の提案、健康体操など2～3カ月ごとに入れ替え）をスライドに作成し、コンピューター画面で掲示しています。自分の生活に何かアクションを起こすきっかけとなり、健康維持につながればと希望しています。来院される方には、お土産（安心、やる気）を持ち帰っていただくこと、よくお話を伺うことが当院の理念であり、私自身と職員一同の毎日の目標としています。中でも力を注いでいる取り組みが、進行した時期のがん患者さんのための「在宅医療」です。入院治療を続けてきた患者さんが、がんを治す治療を一休みして「家で良い時間を過ごす」のが在宅医療だと思います。これまでかかってきた病院の先生をはじめとして、連携している診療所の仲間や、訪問看護師、ケアマネージャー、患者さんのご家族などと密な連携の下、患者さんとその家族に寄り添ったお世話を心掛け治療を行っています。今後さらに連携を広めたく活動中です。



院長 高村 一郎 医師

Q 小樽市立病院との連携はいかがですか？

当院で治療ができない場合や、診断に苦慮する患者さんが来られた際に、小樽市立病院の有村地域医療連携室長をはじめとした皆さんに快く受け入れていただき、丁寧なお手紙も添えてくださり大変助かっております。今後の課題としてご協力を仰ぎたいと考えているのは、当院の取り組みであるがん患者さんの在宅医療を行っていく中で緩和ケアの需要が大きくなると予想されるため、この点での連携をお願いしていきたいと期待しています。

高村内科医院 小樽市赤岩 1 丁目 15 番 14 号 ☎ 0134 - 23 - 8141

●診療科目：内科、循環器内科

●診療時間

月・火・水・金 8:00～12:00、13:30～17:00

木・土 8:00～12:00

●休診：日曜、祝日、年末年始 ※木・土曜 12:00 まで

●駐車場 14 台

※バリアフリー対応（車イスのまま診察室へ入室可）



カプセル釣り



こども薬局体験



作品販売



パチナースに大変身



外科医のつもりで手術体験



お抹茶体験

## 病院まつり

平成 29 年 10 月 28 日開催

今年で 3 回目の開催となる「病院まつり」にはオープニングからたくさんの方が来場されました。ご家族連れや患者さんの姿も見られ、普段と違う病院を楽しめました。



内視鏡体験

### 市民公開講座



講演 1：乳がんについて  
講師 小樽市立病院 外科 越前谷 勇人主任医療部長  
講演 2：婦人科のがんを知りましょう  
講師 小樽市立病院 婦人科 金内 優典医療部長



二胡演奏会